

貴志南っ子

6月

平成28年6月1日

「開校33周年」

本校は、まだまだ田んぼや畑も多く自然に恵まれている地域で、6月＝田に水を張る月＝「水の月」＝水無月（※「無」は連体助詞「の」）をなるほどと実感できる地域です。毎年1年生は「空豆」、2年生は「うすいえんどう」、3年生は「トウモロコシ」の皮むきの体験を「地産地消」の食育の一環として行っています。これらの作物は地元の農家の方が栽培したものを給食の食材として納めて下さっているものです。

また、今年も5年生が地域の方の田をお借りして米作りを行う予定です。市内の小学校の中でも社会科の学習として、こういった体験をさせたいものの、地域によってはなかなか難しい学校が多いと聞きます。今年、雄湊小学校の5年生がバスでやってきて、合同で田植えをする予定にしています。雄湊小学校の先生が貸してもらえる田んぼを探した結果、本校がお世話になっている農家の方に偶然行き当たったと聞きました。このようなことを考えると、田んぼをはじめ自然に囲まれている本校は恵まれているなあと思います。



この6月8日は貴志南小学校創立33周年の日です。創立当時の写真をみると、当然パームシティはまだ無い状態で、土入川をはさんで向団地の向かい側の田んぼの中にそびえ建っていたようです。当時の様子は、これまでも集会等で子どもたちに紹介してきたところです。昨年は開校当時の卒業アルバムを拡大してスライドで見せました。その中には自分の親が卒業生として写っているのを見て、とてもびっくりしていた子もいました。（もちろん全校に見せる許可を得て…）

それ以来、校長室の歴代のアルバムを見せてくださいという子が増えました。親でなくても親せきの叔父さん叔母さんにも子どもの頃があったのを再認識し、しかも同じ貴志南小学校の中で写っているのがなんだかうれしくなるようです。今年は連合自治会長さんに創立当時の地域の様子を語っていただく予定です。和歌山ラジオも取材に来る予定です。

奇しくも、5年生が田植えを一緒にする雄湊小学校は今年で廃校になります。和歌山市初の小中一貫の義務教育学校として、雄湊小学校は、伏虎中学校、本町小学校、城北小学校と共に来年4月より統合されるからです。

自分の母校についての思いをよりいっそう考えさせられる今年の6月でもあります。

<校長 犬塚博志>

★貴志南小学校では、ホームページを設けています。<http://www9.wakayama-wky.ed.jp/kishiminami/>

※写真等は児童個人を特定できないように配慮しています。